

## 令和3年度土木学会賞技術賞（Ⅱグループ）を受賞 ～陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務～

陸前高田市、独立行政法人都市再生機構（以下、「UR」）、清水・西松・青木あすなろ・オリエンタルコンサルタンツ・国際航業陸前高田市震災復興事業共同企業体（以下、「陸前高田JV」）が3者連携の下、東日本大震災で被災した陸前高田市の高田地区及び今泉地区において進めてきた「陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務」（令和3年度に完了）が、令和4年6月10日に土木学会賞技術賞（Ⅱグループ）を受賞しました。

土木学会賞は、大正9年に創設され、現在技術賞を含む10区分があります。昭和40年から創設された技術賞のうち、Ⅱグループは、土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクト（新設プロジェクトのみならず更新やリノベーションプロジェクト等も含む）に授与されます。

津波防災のために高台部を掘削し、低地部をかさ上げするという超大規模土工事を実施するにあたり、大量の土砂を運搬等するこれまでに類を見ない大型のベルトコンベアを用いることで、ダンプであれば8年以上を要する運搬期間を2年半に短縮したことや、ICTの活用等により効率的な施工を実現し、周辺道路の交通量や地域住民の生活環境等に配慮しながら、早期復興を実現したことが評価され、受賞にいたりしました。



虹とベルトコンベア（H27.2撮影 今泉地区からベルトコンベアを望む）



アバッセたかた周辺（出典:URフォト&スケッチ展応募作品H30年度）

本業務実施地区である高田地区及び今泉地区においては、大型商業施設（アバッセたかた）のオープンや、公園や図書館等の公共公益施設が整備される等まちづくりの推進に貢献しました。

東日本大震災による津波被災地域においてURが実施してきた、22地区、1,314ha全ての復興市街地整備事業は令和3年度に完了しました。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

UR 本社

技術・コスト管理部 建設マネジメント室 （電話）045-650-0388

震災復興支援室 企画課 （電話）045-650-0876

広報室 広報課 （電話）045-650-0887

